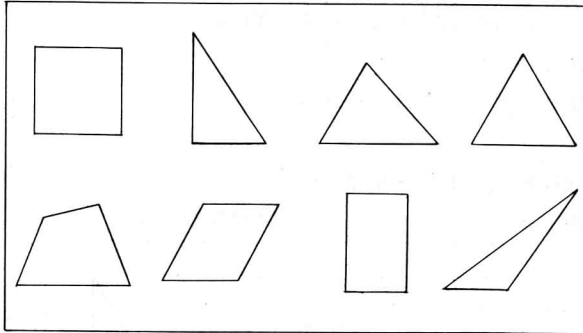
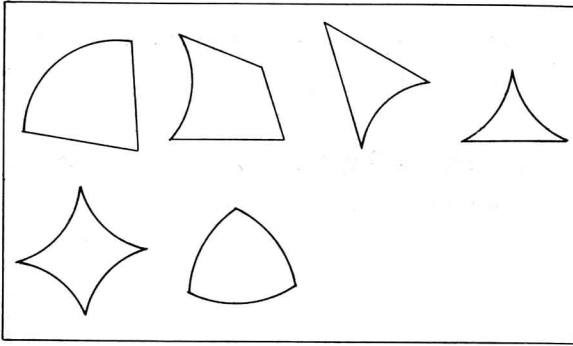


TP2



(1) TP1からえらんだTP2の直線でかこまれた図形について、児童に観点を発表させながら、三角形、四角形を分類させる。操作している児童の分類が正しいかどうか、他の児童に問うことによって、三角形、四角形の理解を確かめることができる。

TP3



(1) TP1から三角形、四角形をえらばせる。TP3の図形が三角形、四角形でない理由を説明させ、三角形、四角形の理解を深める。

(2) 黒板では不十分な動的な場面をつくり、理解を助ける例

- ◎ 小学校第5学年
 - 単元名 四角形の面積
 - 本時のねらい
 - ・ 平行四辺形の面積のもとめ方を理解させる。

指導過程

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点	OHPの活用
1. 基礎的事項の復習 (1) 長方形の面積 2. 平行四辺形の面積 (1) 平行四辺形のままでは面積が求めにくいことについて話しあう。 (2) どんな形に変えると面積がもとめやすくなるかについて話しあう。	○ 既習の長方形と結びつけて考えさせ、等積にするにはどのように変形すればよいか、いろいろな切り方をくふうさせる。	TP1